

2011年度

科目名	総合講座 I		
担当教員	浅尾 広良		
配当	日文2	コード	24038
開期	通年	講時	火曜日4限
単位数		単位数	4
授業テーマ	深読み『源氏物語』		
目的と概要	<p>『源氏物語』は日本の伝統文化を形作るのに大きな力を持ちました。それは天皇をはじめ、時の権力者が『源氏物語』を所有し、味読し、それを体現したためです。いわば、『源氏物語』を所有し実践することが権力者の証となったのです。そのため『源氏物語』は常に文化の頂点としてあり続けました。</p> <p>現代にあって私達が『源氏物語』を読む意味とは、そうした『源氏物語』が歴史的に持った意味を知ることと同時に、『源氏物語』が当時においてどのように理解されたのかをなるべく正確に復元することにあります。歴史的背景や言葉の意味、引歌・引詩などに注目し、巧みに書かれた物語叙述を一つ一つ解きほぐし、物語を深く理解することがこの授業の目的です。書かれていることをなるべく正確に理解し、その文化的価値を正しく認識することを目標とします。</p>		
成績評価法	前後期末に行う定期試験(80%)、授業の最後に行う確認小テスト(10%)、出席(10%)の三者を総合して評価します。		
テキスト	授業時にプリントを用意します。		
参考書	『源氏物語』古典セレクション1(桐壺・帚木・空蝉・夕顔)/阿部秋生・秋山虔・今井源衛・鈴木日出男/小学館 他は授業時に適宜紹介します。		
履修に当たっての注意・助言/準備学習	(助言)授業の中で不明な点があれば、分からないままにしないでどんどん質問してください。試験は論述形式で行いますのでしっかりノートをとっておきましょう。 (準備学習)前回やった内容を必ず確認し、整理して授業に臨んでください。		
講義計画			
<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション 授業の進め方ガイダンス 2 院政期および室町時代の『源氏物語』 3 「いづれの御時」 4 桐壺更衣への偏愛 5 桐壺更衣の死 6 母北の方の想い 7 桐壺大納言家の遺志 8 桐壺更衣哀悼 9 若宮参内・高麗人の予言 10 〈光源氏〉の誕生 11 藤壺の入内 12 后腹内親王の入内と降嫁 13 光源氏の元服① 14 光源氏の元服② 15 前期のまとめ 16 帚木卷冒頭の語りの意味 17 雨夜の品定め 18 左馬頭の弁 19 左馬頭の体験談 20 頭中将と式部丞の体験談 21 空蝉との逢瀬 22 再度の来訪 23 空蝉登場の意味 24 夕顔との出逢い 25 空蝉や六条とのその後 26 夕顔との恋 27 夕顔の怪死 28 物の怪の意図と夕顔の葬送 29 夕顔の素姓 30 後期のまとめ 			